

事務報告1

平成30年度岩手県立高等学校入学者選抜の実施について

1 全日制課程の実施概要

No	学校名	学 科 名		定員	推薦入学者選抜				一般入学者選抜											備考	
					実施の有無	応募資格	募集定員		面接方法		選抜順序・割合(%)			小論文又は作文、適性検査の有無		面接、小論文・作文、適性検査の配点			傾斜配点の有無とその内容		
							%	人			学力検査:調査書・面接等 A=5:5 B=3:7 C=7:3										
											I	II	III								小論文 作文
個人	集団																				
1	盛岡第一	普通・理数		280	有	A	10	28		○	A70	C30			60						＜＜り募集
2	盛岡第二	普通		200	有	A	10	20		○	A70	B20	C10			60					
3	盛岡第三	普通		280	有	A	10	28		○	A70	B10	C20			60					
4	盛岡第四	普通		280	有	A	10	28		○	A100					60					
5	盛岡北	普通		240	有	A	10	24		○	A70	B20	C10			60					
6	盛岡南	普通		160	有	A	10	16		○	A70	B20	C10			60					
		体育コース		40	有	A	50	20		○	A70	B30			実技	40		20			
		体育		40	有	A	50	20		○	A70	B30			実技	40		20			
7	不来方	普通	人文・理数	160	有	A	10	16		○	A70	B20	C10			60					
			芸術	40	有	A	40	16		○	A70	B30			実技	10		50			
			外国語	40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60				英語2倍	
			体育	40	有	A	50	20		○	A70	B30			実技	30		30			
8	盛岡農業	動物科学		40	有	AB	10	4		○	A70	C20	B10			60					
		植物科学		40	有	AB	10	4		○	A70	C20	B10			60					
		食品科学		40	有	AB	10	4		○	A70	C20	B10			60					
		人間科学		40	有	AB	10	4		○	A70	C20	B10			60					
		環境科学		40	有	AB	10	4		○	A70	C20	B10			60					
9	盛岡工業	機械		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
		電気		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
		電子情報		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
		電子機械		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
		工業化学		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
		土木		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
		建築・デザイン		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
10	盛岡商業	流通ビジネス		80	有	A	10	8		○	A70	C20	B10			60					
		会計ビジネス		80	有	A	10	8		○	A70	C20	B10			60					
		情報ビジネス		80	有	A	10	8		○	A70	C20	B10			60					
11	沼宮内	普通		80	有	A	10	8	○	A100					60						
12	葛巻	普通		80	有	A	10	8	○	A100					60					※1	
13	平舘	普通		80	有	A	10	8	○	A70	B30				60						
		家政科学		40	有	AB	10	4	○	A70	B30				60						
14	雫石	普通		40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60						
15	紫波総合	総合		200	有	A	10	20		○	A70	C30			60						
16	花巻北	普通		240	有	A	10	24		○	A70	C20	B10			60					
17	花巻南	普通	人文・自然科学	120	有	A	10	12		○	A70	C30			60						
			スポーツ健康科学	40	有	A	50	20		○	A70	B30			実技	30		30			
			国際科学	40	有	A	10	4		○	A70	C30			60				英語2倍		
18	花巻農業	生物科学		40	有	AB	10	4	○	A100					60						
		環境科学		40	有	AB	10	4	○	A100					60						
		食農科学		40	有	AB	10	4	○	A100					60						
19	花北青雲	情報工学		40	有	A	10	4		○	A70	B30			60						
		ビジネス情報		80	有	A	10	8		○	A70	B30			60						
		総合生活		40	有	A	10	4		○	A70	B30			60						
20	大迫	普通		40	有	A	10	4	○	A70	B10	C20			60						
21	黒沢尻北	普通		240	有	A	10	24		○	A100				60						
22	北上翔南	総合		240	有	A	10	24		○	A70	B30			60						
23	黒沢尻工業	機械		40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60						数学2倍
		電気		40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60						数学2倍
		電子		40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60						数学2倍
		電子機械		40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60						数学2倍
		土木		40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60						数学2倍
		材料技術		40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60						
24	西和賀	普通		40	有	A	10	4	○	A100					60						
25	水沢	普通・理数		240	有	A	10	24		○	A70	B20	C10			60					＜＜り募集
26	水沢農業	農業科学		40	有	AB	10	4	○	A70	B30				60						
		食品科学		40	有	AB	10	4	○	A70	B30				60						
27	水沢工業	機械		40	有	A	10	4	○	A100					60						
		電気		40	有	A	10	4	○	A100					60						
		設備システム		40	有	A	10	4	○	A100					60						
		インテリア		40	有	A	10	4	○	A100					60						

No	学校名	学 科 名		定員	推薦入学者選抜			一般入学者選抜										備考			
					実施の有無	応募資格	募集定員		面接方法		選抜順序・割合(%)			小論文又は作文、適性検査の有無		面接、小論文・作文、適性検査の配点			傾斜配点の有無とその内容		
											学力検査:調査書・面接等 A=5:5 B=3:7 C=7:3										
		%	人				個人	集団	I	II		III	小論文 作文	適性検査	面接	小論文 作文	適性検査				
28	水沢商業	商 業		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
		会 計 ビジネス		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
		情 報 システム		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
29	前 沢	普 通		80	有	A	10	8		○	A100	/	/			60					
30	金ヶ崎	普 通		120	有	A	10	12		○	A70	C20	B10			60					
31	岩 谷 堂	総 合		200	有	A	10	20		○	A70	B20	C10			60					
32	一関第一	普 通 ・ 理 数		240	有	A	10	24		○	A70	B20	C10			60					<<り募集 ※2
33	一関第二	総 合		200	有	A	10	20		○	A70	B20	C10			60					
34	一関工業	電 気		40	有	A	10	4		○	A70	B10	C20			60					
		電 子		40	有	A	10	4		○	A70	B10	C20			60					
		電 子 機 械		40	有	A	10	4		○	A70	B10	C20			60					
		土 木		40	有	A	10	4		○	A70	B10	C20			60					
35	花 泉	普 通		40	有	A	10	4		○	A70	B10	C20			60					
36	大 東	普 通		120	有	A	10	12		○	A100	/	/			60					
		情 報 ビジネス		40	有	A	10	4		○	A100	/	/			60					
37	千 厩	普 通		120	有	A	10	12		○	A70	B10	C20			60					
		生 産 技 術		40	有	AB	10	4		○	A70	B10	C20			60					
		産 業 技 術		40	有	A	10	4		○	A70	B10	C20			60					
38	高 田	普 通		160	有	A	10	16		○	A100	/	/			60					
		海 洋 システム		40	有	A	10	4		○	A100	/	/			60					
39	大 船 渡	普 通		160	有	A	10	16		○	A100	/	/			60					
40	大船渡東	農 芸 科 学		40	有	AB	10	4		○	A100	/	/			60					
		機 械		40	有	AB	10	4		○	A100	/	/			60					
		電 気 電 子		40	有	AB	10	4		○	A100	/	/			60					
		情 報 処 理		40	有	AB	10	4		○	A100	/	/			60					
		食 物 文 化		40	有	AB	10	4		○	A100	/	/			60					
41	住 田	普 通		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
42	釜 石	普 通 ・ 理 数		200	有	A	10	20		○	A70	C30	/			60					<<り募集
43	釜石商工	機 械		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
		電 気 電 子		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
		総 合 情 報		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
44	遠 野	普 通		160	有	A	10	16		○	A70	B30	/			60					
45	遠野緑峰	生 産 技 術		40	有	AB	10	4		○	A70	B30	/			60					
		情 報 処 理		40	有	AB	10	4		○	A70	B30	/			60					
46	大 槌	普 通		80	有	A	10	8		○	A70	B20	C10			60					
47	山 田	普 通		80	有	A	10	8		○	A100	/	/			60					
48	宮 古	普 通		240	有	A	10	24		○	A100	/	/			60					
49	宮古北	普 通		40	有	A	10	4		○	A100	/	/			60					
50	宮古工業	機 械		40	有	AB	10	4		○	A100	/	/			60					
		電 気 電 子		40	有	AB	10	4		○	A100	/	/			60					
		建 築 設 備		40	有	AB	10	4		○	A100	/	/			60					
51	宮古商業	商 業		40	有	A	10	4		○	A70	C20	B10			60					
		会 計		40	有	A	10	4		○	A70	C20	B10			60					
		流 通 経 済		40	有	A	10	4		○	A70	C20	B10			60					
		情 報		40	有	A	10	4		○	A70	C20	B10			60					
52	宮古水産	海 洋 技 術		40	有	AB	10	4		○	A100	/	/			60					
		食 品 家 政		40	有	AB	10	4		○	A100	/	/			60					
		食 物		40	有	AB	10	4		○	A100	/	/			60					
53	岩 泉	普 通		80	有	AB	10	8		○	A70	B20	C10			60					
54	久 慈	普 通		200	有	A	10	20		○	A70	B10	C20			60					
55	久慈東	総 合		200	有	A	10	20		○	A100	/	/			60					
56	久慈工業	電 子 機 械		40	有	A	10	4		○	A70	C30	/			60					
		建 設 環 境		40	有	A	10	4		○	A70	C30	/			60					
57	種 市	普 通		40	有	A	10	4		○	A100	/	/			60					
		海 洋 開 発		40	有	B	10	4		○	A100	/	/			60					
58	大 野	普 通		80	有	A	10	8		○	A100	/	/			60					
59	軽 米	普 通		80	有	A	10	8		○	A70	B20	C10			60					※1
60	伊 保 内	普 通		40	有	AB	10	4		○	A100	/	/			60					
61	福 岡	普 通		200	有	A	10	20		○	A70	B20	C10			60					
62	福岡工業	機 械 システム		40	有	AB	10	4		○	A100	/	/			60					
		電 気 情 報 システム		40	有	AB	10	4		○	A100	/	/			60					
63	一 戸	総 合		120	有	A	10	12		○	A100	/	/			60					

2 定時制課程の実施概要

No	学校名	学 科 名		定員	推薦入学者選抜実施の有無	一般入学者選抜											定時制課程成人枠					備考		
						面接方法		選抜順序・割合(%)			小論文又は作文、適性検査の有無		面接、小論文・作文、適性検査の配点			傾斜配点の有無と内容	面接方法		作文又は小論文	適性検査の有無	面接、作文・小論文、適性検査の配点			
								学力検査:調査書・面接等 A=5:5 B=3:7 C=7:3	I	II	III	小論文 作文	適性 検査	面接	小論文 作文		適性 検査	個人			集団		面接	作文 小論文
定1	杜陵	普通	1・2部	80	無	○		A70	B20	C10			60				○		作文		60	40		※3
			3部	20	無	○		A70	B20	C10			60				○		作文		60	40		
	杜陵奥州	普通	昼間部	30	無	○		A70	C20	B10			60				○		作文		60	40		※4
			夜間部	30	無	○		A70	C20	B10			60				○		作文		60	40		
定2	盛岡工業	工業		40	無	○		A70	B20	C10			60				○		作文		50	50		
定3	一関第一	普通		40	無	○		A100					60				○		作文		100	100		
定4	大船渡	普通		40	無	○		A100					60				○		作文		100	50		
定5	釜石	普通		40	無	○		A100					60				○		作文		100	50		
定6	宮古	普通		40	無	○		A100					60				○		作文		100	100		
定7	久慈長内	普通	昼間部	40	無	○		A100					60				○		作文		100	50		
			夜間部	40	無	○		A100					60				○		作文		100	50		
定8	福岡	普通		40	無	○		A100					60				○		作文		50	50		

注 この表中の定員は、「岩手県立高等学校の管理運営に関する規則」第3条第2項の規定により、志願者数(調整後)によっては、減ずることがある。

※1 定員には、連携型合格者数を含めるものとする。

※2 定員には、併設型中学校からの入学決定者数を含む。学区外最大入学者数は40人とする。

※3 定員は前期日程の定員であり、このほか後期日程の定員は、1・2部40人、3部20人である。

※4 定員は前期日程の定員であり、このほか後期日程の定員は、昼間部10人、夜間部10人である。

事務報告 2

第72回国民体育大会の結果について

	冬季大会	本大会
1 期日	【スケート・アイスホッケー】 平成29年1月27日～31日 【スキー】 平成29年2月14日～17日	【本大会】 平成29年9月30日～10月10日 【会期前競技(水泳)】 平成29年9月9日～17日
2 会場(正式競技)	長野県内 2市1町1村	愛媛県内 11市8町、県外 2県2市1町1村
3 参加人員		
(1)全体	3,481人(選手・監督・本部役員)	22,991人(選手・監督・本部役員)
(2)本県選手団	129人(選手・監督・本部役員)	569人(選手・監督・本部役員)

4 成績(冬季大会から本大会までの累計)

(1)男女総合成績(天皇杯)

14位 1,125点 (昨年度: 2位 1,925点 一昨年度: 16位 1,099点)

(2)女子総合成績(皇后杯)

12位 675.5点 (昨年度: 2位 981点 一昨年度: 16位 598点)

(3)総合成績で上位入賞した都道府県

天皇杯		
順位	都道府県	得点
1	東京都	2,535
2	愛媛県	2,395.5
3	埼玉県	1,787.5
4	大阪府	1,784
5	神奈川県	1,674.5
6	愛知県	1,643.5
7	福井県	1,588.5
8	千葉県	1,531.5

皇后杯		
順位	都道府県	得点
1	東京都	1,282
2	愛媛県	1,196
3	大阪府	985
4	愛知県	925
5	埼玉県	915.5
6	千葉県	842.5
7	神奈川県	835
8	福井県	825

(4)天皇杯得点獲得競技(21競技 ※昨年34競技、一昨年25競技)

※参加点10点を除く。

順位	競技名	得点
1	ホッケー	120
2	スケート	92
3	スキー	53
4	陸上競技	46.5
5	山岳	45
6	カヌー	36
	弓道	36
8	自転車	29
9	レスリング	27
10	ハンドボール	25
	ソフトテニス	25
	剣道	25

順位	競技名	得点
13	フェンシング	24
	アーチェリー	24
15	なぎなた	21
16	ソフトボール	20
17	馬術	19
18	ボクシング	18.5
19	クレール射撃	18
20	ウェトリフティング	16
21	ライフル射撃	5

(5) 優勝者一覧 (冬季大会・本大会)

【冬季大会】 2 競技 5 種目 4 人 ※昨年 (2 競技 3 種目 3 人) 一昨年 (2 競技 2 種目 2 人)
 【本大会】 8 競技 8 種目 24 人 ※昨年 (10 競技 17 種目 29 人) 一昨年 (4 競技 4 種目 7 人)

No	競技	種別	種 目	優 勝 者
1	スケート	少年女子	スピード500m	熊谷 萌 (盛岡工業高校)
2	スケート	成年男子	スピード1500m	渡部 知也 ((株)シリウス)
3	スケート	成年男子	スピード5000m	渡部 知也 ((株)シリウス)
4	スキー	成年女子A	クロスカントリー (クラシカル)	土屋 正恵 (日本大学)
5	スキー	成年男子B	スペシャルジャンプ	永井 健弘 (盛岡市役所)
6	フェンシング	成年男子	フルーレ	佐々木 慶将 ((有)共輪自動車) 藤野 大樹 ((株)デンソー岩手) 千田 圭 (日本体育大学)
7	山岳	少年女子	ボルダリング	田中 里旺 (盛岡第一高校) 伊藤 ふたば (松園中学校)
8	自転車	少年男子	スプリント	中野 慎詞 (紫波総合高校)
9	カヌー	少年男子	カナディアンシングル 200m	吉田 俊吾 (不来方高校)
10	アーチェリー	成年女子	団体	川渕 真弓 (花巻北高校職) 吉田 美紅 (愛知産業大学) 畠山佳菜子 (愛知産業大学)
11	ホッケー	少年男子		田村陸・滝口義貴・中花惇・大村晴人・田村圭 梧・岩崎和也・橘汰威・三浦凌・遠藤智喜・立 花亜蘭 (以上、沼宮内高校)・澤柊汰・工藤基 明 (以上、不来方高校)
12	陸上競技	成年男子	10000m競歩	高橋 英輝 (富士通)
13	ゴルフ	少年男子	個人	米澤 蓮 (盛岡中央高校)

(6) 入賞数(冬季大会含む)

※昨年の国体(172種目 団体60個人112)一昨年の国体(94種目 団体25個人69)

101種目 … 団体 20、個人 81

5 入賞数過去との比較 (上段：入賞総数 カッコ内：団体入賞数 ※冬季大会からの通算)

	72回愛媛	71回岩手	70回和歌山	69回長崎	68回東京	67回岐阜	66回山口	65回千葉	64回新潟	63回大分
1位	13 (4)	20 (6)	6 (2)	5 (1)	4 (1)	0 (0)	4 (0)	3 (1)	4 (1)	5 (0)
2位	9 (2)	16 (5)	7 (1)	5 (0)	8 (1)	5 (1)	4 (2)	2 (1)	7 (1)	4 (1)
3位	14 (2)	22 (11)	14 (4)	8 (0)	12 (3)	6 (1)	8 (4)	12 (1)	5 (1)	6 (1)
4位	12 (3)	20 (4)	11 (4)	7 (2)	5 (1)	4 (0)	5 (0)	6 (2)	5 (2)	6 (4)
5位	20 (4)	35 (19)	18 (6)	20 (5)	13 (4)	18 (7)	12 (1)	14 (5)	15 (4)	15 (3)
6位	10 (4)	19 (7)	12 (2)	10 (5)	12 (2)	10 (3)	4 (0)	2 (0)	9 (1)	9 (0)
7位	11 (1)	18 (5)	15 (5)	11 (2)	13 (4)	9 (1)	1 (0)	9 (2)	6 (1)	8 (4)
8位	12 (0)	22 (3)	11 (2)	5 (0)	4 (0)	12 (1)	9 (0)	11 (1)	8 (1)	9 (3)
計	101 (20)	172 (60)	94 (26)	71 (15)	71 (16)	64 (14)	47 (7)	59 (13)	59 (12)	62 (16)
競技数	22	34	25	20	21	19	14	19	18	20
順位	14	2	16	37	23	39	41	33	39	36

上位等の入賞数

1-4	48 (11)	78 (26)	38 (11)	25 (3)	29 (6)	15 (2)	21 (6)	23 (5)	21 (5)	21 (6)
5位	20 (4)	35 (19)	18 (6)	20 (5)	13 (4)	18 (7)	12 (1)	14 (5)	15 (4)	15 (3)
6-8	33 (5)	59 (15)	38 (9)	26 (7)	29 (6)	31 (5)	14 (0)	22 (3)	23 (3)	26 (7)

※得点対象外も含む。

6 東北各県の総合成績 (上段：順位 下段：得点 ※冬季大会からの通算)

(1) 天皇杯順位・得点

	72回愛媛	71回岩手	70回和歌山	69回長崎	68回東京	67回岐阜	66回山口	65回千葉	64回新潟	63回大分
岩手	14 1,125.0	2 1,925.0	16 1,099.0	37 807.5	23 943.0	39 790.0	41 715.0	33 812.5	39 744.5	36 801.0
青森	35 827.5	40 759.5	40 722.5	43 758.5	34 840.0	40 770.5	29 913.5	29 880.0	34 803.5	28 933.0
秋田	20 989.0	37 817.5	38 774.5	42 769.0	39 774.5	36 814.0	19 971.0	28 881.5	30 868.0	23 991.5
宮城	34 842.0	24 948.0	23 956.5	25 934.0	21 955.0	25 905.0	20 962.5	19 1036.5	15 1201.5	12 1230.5
山形	31 873.5	26 929.0	36 801.5	30 870.0	19 974.5	28 883.0	42 713.0	36 788.5	27 898.5	38 779.5
福島	41 768.0	35 843.5	31 866.0	34 823.0	35 816.5	43 685.0	40 727.0	43 715.5	35 788.0	31 858.5

(2) 皇后杯順位・得点

	72回愛媛	71回岩手	70回和歌山	69回長崎	68回東京	67回岐阜	66回山口	65回千葉	64回新潟	63回大分
岩手	12 675.5	2 981.0	16 598.0	33 450.0	27 483.0	40 408.0	39 390.0	37 427.5	44 371.0	35 453.0
青森	46 395.5	40 458.5	43 354.5	43 383.0	36 434.0	41 396.0	32 440.0	36 432.0	42 381.5	45 355.5
秋田	20 582.0	36 486.5	38 414.0	40 420.0	42 371.5	33 452.5	27 476.0	30 471.0	41 408.5	25 520.0
宮城	37 462.5	26 558.0	22 537.0	23 495.5	24 493.5	26 482.5	24 494.5	25 507.5	17 563.0	16 613.0
山形	25 541.5	23 566.0	39 410.5	32 453.5	23 508.5	27 480.0	33 434.5	23 519.5	24 523.0	34 459.5
福島	40 455.0	31 519.5	35 430.5	29 471.5	34 445.0	44 363.0	40 387.0	44 365.5	37 421.5	36 429.5

7 国民体育大会における岩手県順位の推移

回数	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
開催年	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
開催地	岩手	和歌山	鹿児島	千葉	茨城	三重	佐賀	青森	長野	宮崎	栃木	滋賀	島根	群馬	奈良	鳥取	山梨	沖縄
順位	1	7	9	13	20	22	29	11	19	21	23	19	16	25	15	23	20	28
回数	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
開催年	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
開催地	京都	北海道	福岡	石川	山形	徳島香川	愛知	福島	広島	大阪	神奈川	熊本	富山	宮城	高知	静岡	埼玉	岡山
順位	29	25	22	28	32	35	44	30	42	30	24	30	36	38	43	37	39	42
回数	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72						
開催年	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29						
開催地	兵庫	秋田	大分	新潟	千葉	山口	岐阜	東京	長崎	和歌山	岩手	愛媛						
順位	34	34	36	39	33	41	39	23	37	16	2	14						

8 東北各県の天皇杯順位の推移（最近10年）

回数	開催年	開催地	岩手	青森	秋田	宮城	山形	福島
63	H20	大分	36	28	23	12	38	31
64	H21	新潟	39	34	30	15	27	35
65	H22	千葉	33	29	28	19	36	43
66	H23	山口	41	29	19	20	42	40
67	H24	岐阜	39	40	36	25	28	43
68	H25	東京	23	34	39	21	19	35
69	H26	長崎	37	43	42	25	30	34
70	H27	和歌山	16	40	38	23	36	31
71	H28	岩手	2	40	37	24	26	35
72	H29	愛媛	14	35	20	34	31	41

議案第11号

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則（昭和32年岩手県教育委員会規則第3号）の一部を次のように改正する。

改正前							改正後								
別表第1 高等学校の全日制の課程、定時制の課程及び通信制の課程の学級編制（第3条関係）							別表第1 高等学校の全日制の課程、定時制の課程及び通信制の課程の学級編制（第3条関係）								
学校名	区分	全日制の課程		定時制の課程		通信制の課程		学校名	区分	全日制の課程		定時制の課程		通信制の課程	
		学科名	学級数	学科名	学級数	学科名	学級数			学科名	学級数	学科名	学級数	学科名	学級数
[略]							[略]								
岩手県立雫石高等学校		普通科	6	[略]				岩手県立雫石高等学校		普通科	5	[略]			
[略]							[略]								
岩手県立西和賀高等学校		普通科	6	[略]				岩手県立西和賀高等学校		普通科	5	[略]			
[略]							[略]								
岩手県立水沢農業高等学校		農業科	3	[略]				岩手県立水沢農業高等学校		農業科	3	[略]			
		環境工学科	3							食品科	1				
		生活科	3							環境工学科	2				
[略]							[略]								
岩手県立一関第二高等学校		総合学科	18	[略]				岩手県立一関第二高等学校		総合学科	17	[略]			
[略]							[略]								
岩手県立大船渡高等学校		普通科	15	[略]				岩手県立大船渡高等学校		普通科	14	[略]			
[略]							[略]								
岩手県立釜石		[略]	[略]	[略]				岩手県立釜石		[略]	[略]	[略]			
		電子機	3							電子機	2				

商工高等学校		械科 [略] 総合情報科	[略] <u>6</u>	
[略]				
岩手県立大槌高等学校		普通科	<u>8</u>	[略]
[略]				
岩手県立宮古高等学校		[略]		
[略]				
岩手県立種市高等学校		普通科 [略]	<u>6</u> [略]	[略]
[略]				
岩手県立伊保内高等学校		普通科	<u>5</u>	[略]
[略]				

備考 [略]

商工高等学校		械科 [略] 総合情報科	[略] <u>5</u>	
[略]				
岩手県立大槌高等学校		普通科	<u>7</u>	[略]
[略]				
岩手県立宮古高等学校		[略]		普通科 別に定める。
[略]				
岩手県立種市高等学校		普通科 [略]	<u>5</u> [略]	[略]
[略]				
岩手県立伊保内高等学校		普通科	<u>4</u>	[略]
[略]				

備考1 [略]

2 岩手県立水沢農業高等学校の環境工学科及び生活科学科並びに岩手県立釜石商工高等学校の電子機械科については、平成30年度以後の入学に係る生徒の募集を停止する。

備考 改正部分は、下線の部分である。

附 則

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

平成29年10月24日提出

岩手県教育委員会教育長 高橋 嘉行

理由

岩手県立学校設置条例の一部改正に伴い、県立高等学校の課程及び学科の設置について所要の改正をするとともに、県立高等学校の学級数及び生徒の募集停止について定めようとするものである。これが、この規則案を提出する理由である。

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則案要綱

第1 改正の趣旨

岩手県立学校設置条例の一部改正に伴い、県立高等学校の課程及び学科の設置について所要の改正をするとともに、県立高等学校の学級数を改めようとするものである。

第2 規則案の内容

- 1 県立高等学校の課程及び学科の設置に伴い、次のとおり加えること。(別表第1関係)

学校名	区 分	課 程	学科名	学級数
岩手県立水沢農業高等学校		全日制	食品科学科	1
岩手県立宮古高等学校		通信制	普通科	別に定める。

- 2 県立高等学校の学級数を次のとおり改めること。(別表第1関係)

学校名	区 分	課 程	学科名	学級数	
				現 行	改 正
岩手県立雫石高等学校		全日制	普通科	6	5
岩手県立西和賀高等学校		全日制	普通科	6	5
岩手県立水沢農業高等学校		全日制	環境工学科	3	2
		全日制	生活科学科	3	2
岩手県立一関第二高等学校		全日制	総合学科	18	17
岩手県立大船渡高等学校		全日制	普通科	15	14
岩手県立釜石商工高等学校		全日制	電子機械科	3	2
			総合情報科	6	5
岩手県立大槌高等学校		全日制	普通科	8	7
岩手県立種市高等学校		全日制	普通科	6	5
岩手県立伊保内高等学校		全日制	普通科	5	4

- 3 募集停止について、所要の改正をすること。(別表第1関係)

第3 施行期日

この規則は、平成30年4月1日から施行すること。(附則関係)

平成 30 年 度

県立学校の編制について

岩手県教育委員会

I 平成 30 年度 県立高等学校の編制について

1 課程別・学科別募集学級数及び募集定員

区 分			募 集 学 級 数			募 集 定 員		
			29 年度	30 年度	差	29 年度	30 年度	差
県 立	全 日 制	普通科・理数科 体育科	146	142	▲ 4	5,840	5,680	▲160
		職業に関する学科	77	74	▲ 3	3,080	2,960	▲120
		総合学科	30	29	▲ 1	1,200	1,160	▲40
		小 計	253	245	▲ 8	10,120	9,800	▲320
	定 時 制	普通科	13	13	0	520	520	0
		職業に関する学科	1	1	0	40	40	0
		小 計	14	14	0	560	560	0
合 計			267	259	▲ 8	10,680	10,360	▲320

2 ブロック別募集学級数増減

ブロック等	募集学級数 (全日制・ 定時制)	学 校 名	29年度設置 学 科 及 び 募 集 学 級 数	30年度設置 学 科 及 び 募 集 学 級 数	30年度学級数増減		
					学 科	増	減
盛岡	82→81 (全76、定5)	雫石高校	普通 2	普通 1	普通		▲1
岩手 中部	39→38 (全38、定0)	西和賀高校	普通 2	普通 1	普通		▲1
胆江	28→27 (全25、定2)	水沢農業高校	農業科学 1 生活科学 1 環境工学 1	農業科学 1 食品科学 1	生活科学 環境工学 食品科学	1	▲1 ▲1
両磐	27→26 (全25、定1)	一関第二高校	総合 6	総合 5	総合		▲1
気仙	17→16 (全15、定1)	大船渡高校	普通 5	普通 4	普通		▲1
釜石・ 遠野	19→17 (全16、定1)	釜石商工高校	機械 1 電子機械 1 電気電子 1 総合情報 2	機械 1 電気電子 1 総合情報 1	電子機械 総合情報		▲1 ▲1
宮古	22→22 (全21、定1)						
久慈	19→18 (全16、定2)	種市高校	普通 2	普通 1	普通		▲1
二戸	14→14 (全13、定1)						
合計	267 → 259 (全245定14)				普通 普通・理数 体育 農業 工業 商業 水産 家庭 総合 定時制	1	▲4 ▲2 ▲1 ▲1 ▲1
					計		1

3 学科改編

平成 30 年度の学科改編の状況は、次の表の通りである。

ブロック等	学校名	29年度設置 学科及び 募集学級数	30年度設置 学科及び 募集学級数	理由
胆江	水沢農業高校	農業科学 1 生活科学 1 環境工学 1	農業科学 1 食品科学 1	少子化による生徒減少に対応した魅力ある学科構成とするため、生徒の進路希望の動向や社会情勢の変化を踏まえた学科改編を行うものである。 農業科学科では県南地区の農業の特色・地域性を考慮し、作物、野菜、畜産、果樹、草花等の動植物に関することを学習内容とし、食品科学科では、発展が見込まれる6次産業化に対応する食品製造、フードデザイン、食品流通等に関することを学習内容とする。
釜石・遠野	釜石商工高校	機械 1 電子機械 1 電気電子 1 総合情報 2	機械 1 電気電子 1 総合情報 1	少子化による生徒減少に対応した学科構成とするため、生徒の進路希望の動向や地域産業のニーズを踏まえた学科改編を行うものである。 機械科では機械全般に関することに加え、これまで電子機械科で学んできた機械制御に関することも学習内容とする。

4 学校再編

新たな県立高等学校再編計画で、平成 30 年度の改編を計画した高校の状況は、次の表の通りである。

ブロック等	学校名	現行	改編内容	理由
宮古	宮古高校	全日制課程普通科 (6) 定時制課程普通科 (1)	全日制課程普通科 (6) 定時制課程普通科 (1) 通信制課程普通科	これまで、宮古高校（全日制、定時制）の校舎内に杜陵高校通信制課程宮古分室を設置し、宮古高校と杜陵高校通信制課程宮古分室はそれぞれ別の学校として運営していたが、杜陵高校通信制課程宮古分室を宮古高校通信制課程に再編することにより、通信制課程の生徒の学ぶ環境の改善が図られる。

5 年次進行に伴う県立高等学校の分校、課程及び学科の廃止

平成 30 年度に年次進行に伴う県立学校及び学科の廃止はない。

II 平成 30 年度 県立特別支援学校の編制について

平成 30 年度における編制の変更はない。

平成 30 年度学級編制について

1 平成 30 年度学科改編・学級減等の取扱いについて

- 1 平成 30 年度の学級編制については、原則として「新たな県立高等学校再編計画」（以下「再編計画」という。）に基づき、**学科改編・学級減を実施する**。ただし、ブロック内の中学校卒業予定者数や、各校の定員充足状況等に大きな変化があった場合には、実施時期等の変更も検討する。
- 2 入学者に**1 学級定員を上回る欠員が生じた場合には**、岩手県立高等学校の管理運営に関する規則（以下「管理運営規則」という。）第 3 条第 2 項の規定に基づき、**学級減を検討する**。

<再編計画関係>

- (1) 西和賀高校、水沢農業高校、一関第二高校、大船渡高校、釜石商工高校、種市高校については、再編計画のとおり**学科改編・学級減**を行う。
- (2) 葛巻高校については、今年度の定員充足状況、平成 30 年度の入学者推計等から**2 学級から 1 学級への学級減を延期する**。

<管理運営規則関係>

- (3) 雫石高校については、2 年連続で欠員が 40 人を超え、今後もその状況が続くと見込まれることから、**2 学級から 1 学級への学級減**を行う。

2 中学校卒業予定者数

平成 29 年 3 月 11,927 人 平成 30 年 3 月 11,380 人 (H29 比 ▲547 人)
(ブロック毎の中学校卒業予定者数は 6 ページ参照)

3 平成 29 年度県立高校の募集定員と合格者数等

全日制 63 校 募集定員 10,120 人 合格者 8,673 人 欠員 1,447 人

4 平成 30 年度学校再編について

宮古高校に通信制課程を設置する。(杜陵高校通信制課程宮古分室を宮古高校通信制課程に再編)

5 平成 30 年度学級編制について

〔以下の表中 ※1 各校の入学者の H30 年度～H32 年度は推計値 (H27～H29 年度の入学状況による)
※2 再編計画策定時の推計値は H25～H27 年度の入試状況による〕

- (1) 再編計画において平成 30 年度に学科改編・学級減を予定している高校の取扱いについて
ア 学科改編・コース見直しを伴う学校

(ア) 西和賀高校 2 学級→1 学級 コース見直し

福祉は科目選択により学べるよう見直し

普通科
普通科 福祉・情報コース



普通科

年度	入学者の状況 (定員 80 人) () 過不足			入学者推計		
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
西和賀高校の入学者※1	25(▲55)	44(▲36)	29(▲51)	30	25	30
再編計画策定時の推計※2		38	35	34	28	34
西和賀町内中学校卒業生数	41	45	38	39	25	39
北上市内中学校卒業生数	949	951	986	856	957	850

(イ) 水沢農業高校 3学級→2学級 学科改編
6次産業化に対応した学びができるよう改編

農業科学科
生活科学科
環境工学科



農業科学科
食品科学科

年度	入学者の状況(定員120人) () 過不足			入学者推計		
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
水沢農業高校の入学者 ^{※1}	77(▲43)	68(▲52)	59(▲61)	65	64	62
再編計画策定時の推計 ^{※2}		91	89	86	85	85
胆江ブロック内中学校卒業生数(ブロック内定員1,040人)	1,314	1,313	1,254	1,231	1,168	1,178

(ウ) 一関第二高校 6学級→5学級 系列見直し
系列名から学習内容が分かるよう5系列に見直し

人文系列
自然系列
環境・ビジネス系列
福祉系列



人文系列
自然系列
環境・生活系列
ビジネス系列
福祉系列

年度	入学者の状況(定員240人) () 過不足			入学者推計		
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
一関第二高校の入学者 ^{※1}	242(+2)	238(▲2)	216(▲24)	235	233	217
再編計画策定時の推計 ^{※2}		245	222	231	225	206
両磐ブロック内中学校卒業生数(ブロック内定員1,040人)	1,222	1,261	1,143	1,156	1,167	1,086

(エ) 釜石商工高校 5学級→3学級 学科改編(工業3→工業2、商業2→商業1)
これまで同様の学びができるよう改編

[工] 機械科
電子機械科
電気電子科
[商] 総合情報(2)



[工] 機械科
電気電子科
[商] 総合情報(1)

年度	入学者の状況(定員200人) () 過不足			入学者推計		
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
釜石商工高校の入学者 ^{※1}	100(▲100)	138(▲62)	119(▲81)	102	105	93
再編計画策定時の推計 ^{※2}		125	109	99	105	93
釜石地区内中学校卒業生数	405	432	392	354	348	316

イ 学級減のみの学校

(ア) 大船渡高校 普通科5学級→4学級

年度	入学者の状況(定員200人) () 過不足			入学者推計		
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
大船渡高校の入学者 ^{※1}	200(±0)	175(▲25)	200(±0)	169	166	158
再編計画策定時の推計 ^{※2}		174	174	156	158	150
大船渡市内中学校卒業生数	376	319	335	297	288	286
気仙ブロック内中学校卒業生数(ブロック内定員640人)	598	561	556	505	498	467
高田高校(定員200)の入学者 ^{※1}	164(▲36)	179(▲21)	144(▲56)	144	145	130
再編計画策定時の推計 ^{※2}		156	152	137	141	127
大船渡東高校(定員200)の入学者 ^{※1}	146(▲54)	119(▲81)	121(▲79)	112	109	106
再編計画策定時の推計 ^{※2}		133	136	121	122	117
住田高校(定員40)の入学者 ^{※1}	40(±0)	33(▲7)	33(▲7)	33	32	29
再編計画策定時の推計 ^{※2}		38	34	33	33	30

(イ) 種市高校 普通科 2 学級→1 学級

年度	入学者の状況(定員 120 人) () 過不足			入学者推計			
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
種市高校の入学者※ ¹	普通	52(▲28)	46(▲34)	32(▲48)	62	67	59
	海洋開発	31(▲9)	34(▲6)	32(▲8)			
再編計画策定時の推計※ ²		77	75	62	65	58	
旧種市町内中学校卒業生数	118	119	118	86	103	83	
洋野町内中学校卒業生数	187	181	167	138	155	131	

(ウ) 葛巻高校 普通科 2 学級→2 学級

年度	入学者の状況(定員 80 人) () 過不足			入学者推計		
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
葛巻高校の入学者※ ¹	48(▲32)	41(▲39)	51(▲29)	43	36	29
再編計画策定時の推計※ ²		42	35	39	30	29
葛巻町内中学校卒業生数	50	49	40	45	35	29

(2) 管理運営規則に基づく学級数調整について

雫石高校 普通科 2 学級→1 学級

年度	入学者の状況(定員 80 人) () 過不足			入学者推計		
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
雫石高校の入学者※ ¹	49(▲31)	40(▲40)	25(▲55)	35	33	33
再編計画策定時の推計※ ²		50	51	48	44	44
雫石町内中学校卒業生数	171	150	152	144	130	134

6 今後のスケジュール

- 9月 9月議会において、県立学校設置条例の一部改正案を提案（水沢農業高校の学科改編及び宮古高校通信制課程の設置）
- 10月 教育委員会定例会において、管理運営規則の改正、平成 30 年度県立高校入学者選抜要項を審議、決定

《参考》

1 前期再編プログラム総括表

計画期間(H28～H32 5年間)					
タイプ 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
専門高校					
総合的な 専門高校					宮古商業 宮古工業
普通科 専門 学科併置校					遠野 遠野緑峰
総合学科 専門 学科併置高校					久慈東 久慈工業
普通高校		※ 表外(2)のとおり			
学科改編 コース等見直し (学級減)			西和賀 水沢農業 一関第二 釜石商工	平館 花巻南 水沢工業 大船渡東 宮古水産	不来方 盛岡工業 紫波総合 花北青雲 北上翔南 一関工業 一戸
学級減		大槌 伊保内	葛巻 大船渡 種市	盛岡第四 前沢 大東 山田 大野 久慈 福岡	盛岡第三 盛岡北 一関第一 高田 釜石 宮古
全日制学校数	63	63	63	63	60
全日制学級数	255	253	245	233	216
(定時制)			宮古ブロック	盛岡ブロック	

- (1) 統合予定校では、地方創生に向けたそれぞれの地域の取組の推移や、平成 30 年度までの入学者の状況等の検証を行い、統合時期等について検討します。
- (2) 1 学年 1 学級の普通高校では、直近の入学者数が 2 年連続して 20 人以下となった場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合します。
- (3) 学科改編、学級減等は、原則として再編計画に基づき実施しますが、ブロック内の中学校卒業予定者数や、各校の定員充足状況等に大きな変化があった場合には、実施時期等の変更も検討します。

2 岩手県立高等学校の管理運営に関する規則（抄）

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則（抄）

第 3 条 （略）

- 2 入学志願者の数が、生徒の募集に関する人員に満たない場合で、その不足する数が 1 学級の収容定員以上であるときは、別表第 1 から別表第 3 までに掲げる学級数を減ずることがある。

議案第12号

平成30年度岩手県教育委員会定期人事異動方針に関し議決を求めることについて
次のとおり平成30年度岩手県教育委員会定期人事異動方針を定めることについて、議決を
求める。

平成30年度岩手県教育委員会定期人事異動方針

東日本大震災津波からの教育の本格復興に向けた取組を推進するとともに、「知・徳・
体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現等に向けて、「いわて県民計画」及
び「岩手の教育振興」に掲げる主要施策を積極的に展開するため、次に掲げるところにより
教職員の意欲と能力を重視した適材適所の人事配置を行い、もって組織能力の一層の向上を
図るものとする。

また、学校への期待の高まりや学校教育課題の複雑・多様化に伴い、業務負担が増大して
いる中、「学校における働き方改革」の実現に向け、業務改善を強く推進し、教員が授業や
授業準備等に集中して教育の質を高めていくことが求められているところであり、管理職の
リーダーシップによるマネジメント機能の強化や、学校や教職員が心理や福祉等の専門スタ
ッフと連携し、組織として教育活動に取り組む「チーム学校」体制の整備の観点にも配慮し
ていくこととする。

1 東日本大震災津波からの教育の復興への対応

東日本大震災津波からの教育の本格復興に向けた取組を推進するため、地域の実情やニ
ーズに配慮するとともに、防災教育をはじめとする「いわての復興教育」等を着実に推進
するための人事配置に努める。

2 本県の重要施策の推進

児童生徒の学力向上、いじめ、不登校問題など学校教育における課題に引き続き力を入
れて取組を進めるとともに、社会教育の充実や家庭教育の支援、文化財の適切な保存、学
校保健や学校体育の充実等、本県の重要施策を着実に推進するため、教職員が高い意欲を
保ちつつ組織一体となってこれらの課題に取り組むことができる人事配置に努める。

3 地域や学校のニーズ等への対応

家庭・地域との協働による特色ある目標達成型の学校経営を推進することにより、各学
校が地域や子どもの実態に即した創意工夫ある教育活動を行えるよう、地域や学校のニ
ーズを踏まえた人事配置に努める。

4 管理職の役割の重視

学校経営においては、管理職のリーダーシップが重要であることから、管理職の任用に
ついては、以下のとおり行う。

- (1) 管理職に相応しい人格、識見を特に重視するとともに、年齢や性別、経験年数にと
られることなく、指導能力、組織運営能力、実績について総合的に評価し登用する。
- (2) 管理職の在職期間については、学校経営の安定化の視点に配慮する。

5 組織能力及び個々の職員のモチベーションの向上に向けた人事配置

- (1) 所属長のヒアリングにおいては、個々の教職員について、今後従事したい業務に係
る希望、適性、現在の職務の遂行状況及び健康状態、持病、家庭事情等についてもでき
るだけきめ細かく聴き取ることとし、人事配置に当たっては、それらの事情を踏まえ、
個々の教職員のモチベーションの向上に努めることとする。

- (2) 各所属の職員構成については、年齢、経験年数等の適切なバランスに配慮する。
また、全県の視野から地域ごとの職員構成についても適切なバランスに配慮することとし、特に、県北・沿岸地区やへき地等の職員体制の一層の充実に努める。
- (3) 主幹教諭、指導教諭又は指導養護教諭については、学校において多様化・複雑化する諸課題に組織的・機動的に対応し、その役割がより一層効果的に発揮されるよう、学校規模等を総合的に考慮しながら配置する。
- (4) 小中学校事務の共同実施体制の機能強化を図り、学校経営の充実に資するため、「事務長」の職の効果、課題を検証し、段階的な配置拡大を進めていくこととする。
- (5) 事務局と学校との異動、職種間及び校種間での異動を行うとともに、他の任命権者との間での人事交流を行う。また、主任等以下の若手事務職員については、ジョブローテーションに基づき、人材の育成と適性の把握が図られるよう配慮する。

6 その他

公的年金の報酬比例部分の支給開始年齢の引上げ（平成25年度以後60歳から65歳へと段階的に引上げ）に伴う雇用と年金の接続については、再任用制度の適切な運用により対応するよう配慮する。

平成29年10月24日提出

岩手県教育委員会教育長 高橋 嘉行

理由

平成30年度岩手県教育委員会定期人事異動方針を定めようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

岩手県教育委員会定期人事異動方針新旧対照表

平成 29 年度	平成 30 年度
<p data-bbox="165 185 719 219"><u>平成 29 年度岩手県教育委員会定期人事異動方針</u></p> <p data-bbox="97 271 788 544">東日本大震災津波からの教育の本格復興に向けた取組を推進するとともに、「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、「いわて県民計画」及び「岩手の教育振興」に掲げる主要施策を積極的に展開するため、次に掲げるところにより教職員の意欲と能力を重視した人事配置を行い、もって組織能力の一層の向上を図るものとする。</p> <p data-bbox="97 555 788 828">また、<u>複雑・多様化している学校教育の課題に対応し、「次世代の学校」の創生の実現に向け、組織として教育活動に取り組む体制を創り上げていく</u>ことが求められているところであり、<u>所属長のリーダーシップによるマネジメント機能の強化や、学校や教職員が心理や福祉等の専門スタッフと連携する「チーム学校」体制の整備の観点にも配慮していく</u>こととする。</p> <p data-bbox="97 920 788 1115">1 東日本大震災津波からの教育の復興への対応 東日本大震災津波からの教育の本格復興に向けた取組を推進するため、<u>地域の実情やニーズに配慮するとともに、防災教育をはじめとする「いわての復興教育」等を着実に推進するための適材適所の人事配置に努める。</u></p> <p data-bbox="97 1167 788 1480">2 本県の重要施策の推進 児童生徒の学力向上、いじめ、不登校問題など学校教育における課題により力を入れて取組を進めるとともに、社会教育の充実や家庭教育の支援、文化財の適切な保存、学校保健や学校体育の充実等、本県の重要施策を着実に推進するため、<u>教職員が高い意欲を保ちつつ組織一体となってこれらの課題に取り組むことができるよう、適材適所の人事配置に努める。</u></p> <p data-bbox="97 1532 788 1727">3 地域や学校のニーズ等への対応 家庭・地域との協働による特色ある目標達成型の学校経営を推進することにより、各学校が地域や子どもの実態に即した創意工夫ある教育活動を行えるよう、<u>地域や学校のニーズを踏まえた人事配置に努める。</u></p> <p data-bbox="97 1778 788 2051">4 管理職の役割の重視 学校経営においては、<u>管理職のリーダーシップが重要であることから、管理職の任用については、以下のとおり行う。</u> (1) <u>管理職に相応しい人格、識見を特に重視するとともに、年齢や経験年数にとらわれることなく、指導能力、組織運営能力、実績について総合的に評価し登用する。</u></p>	<p data-bbox="884 185 1437 219"><u>平成 30 年度岩手県教育委員会定期人事異動方針</u></p> <p data-bbox="810 271 1501 544">東日本大震災津波からの教育の本格復興に向けた取組を推進するとともに、「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現等に向けて、「いわて県民計画」及び「岩手の教育振興」に掲げる主要施策を積極的に展開するため、次に掲げるところにより教職員の意欲と能力を重視した<u>適材適所の人事配置</u>を行い、もって組織能力の一層の向上を図るものとする。</p> <p data-bbox="810 555 1501 873">また、<u>学校への期待の高まりや学校教育課題の複雑・多様化に伴い、業務負担が増大している中、「学校における働き方改革」の実現に向け、業務改善を強く推進し、教員が授業や授業準備等に集中して教育の質を高めていく</u>ことが求められているところであり、<u>管理職のリーダーシップによるマネジメント機能の強化や、学校や教職員が心理や福祉等の専門スタッフと連携し、組織として教育活動に取り組む「チーム学校」体制の整備の観点にも配慮していく</u>こととする。</p> <p data-bbox="810 920 1501 1115">1 東日本大震災津波からの教育の復興への対応 東日本大震災津波からの教育の本格復興に向けた取組を推進するため、<u>地域の実情やニーズに配慮するとともに、防災教育をはじめとする「いわての復興教育」等を着実に推進するための人事配置に努める。</u></p> <p data-bbox="810 1167 1501 1480">2 本県の重要施策の推進 児童生徒の学力向上、いじめ、不登校問題など学校教育における課題に<u>引き続き力</u>を入れて取組を進めるとともに、社会教育の充実や家庭教育の支援、文化財の適切な保存、学校保健や学校体育の充実等、本県の重要施策を着実に推進するため、<u>教職員が高い意欲を保ちつつ組織一体となってこれらの課題に取り組むことができる人事配置に努める。</u></p> <p data-bbox="810 1532 1501 1727">3 地域や学校のニーズ等への対応 家庭・地域との協働による特色ある目標達成型の学校経営を推進することにより、各学校が地域や子どもの実態に即した創意工夫ある教育活動を行えるよう、<u>地域や学校のニーズを踏まえた人事配置に努める。</u></p> <p data-bbox="810 1778 1501 2094">4 管理職の役割の重視 学校経営においては、<u>管理職のリーダーシップが重要であることから、管理職の任用については、以下のとおり行う。</u> (1) <u>管理職に相応しい人格、識見を特に重視するとともに、年齢や性別、経験年数にとらわれることなく、指導能力、組織運営能力、実績について総合的に評価し登用する。</u></p>

<p>(2) 管理職の在職期間については、学校経営の安定化の視点に配慮する。</p> <p>5 組織能力及び個々の職員のモチベーションの向上に向けた人事配置</p> <p>(1) 所属長のヒアリングにおいては、個々の教職員について、今後従事したい業務に係る希望、適性、現在の職務の遂行状況及び健康状態、家庭事情等についてもできるだけきめ細かく聴き取ることとし、人事配置に当たっては、それらの事情を踏まえ、個々の教職員のモチベーションの向上に努めることとする。</p> <p>(2) 各所属の職員構成については、年齢、経験年数等の適切なバランスに配慮する。</p> <p>また、全県的視野から地域ごとの職員構成についても適切なバランスに配慮することとし、特に、県北・沿岸地区やへき地等の職員体制の一層の充実に努める。</p> <p>(3) 主幹教諭、指導教諭又は指導養護教諭については、学校において多様化・複雑化する諸課題に組織的・機動的に対応し、その役割がより一層効果的に発揮されるよう、学校規模等を総合的に考慮しながら配置する。</p> <p>(4) 小中学校事務の共同実施体制の機能強化を図り、学校経営の充実に資するため、平成28年度新設した「事務長」の職の効果、課題を検証し、段階的な配置拡大を進めていくこととする。</p> <p>(5) 事務局と学校との異動、職種間及び校種間での異動を行うとともに、他の任命権者との間での人事交流を行う。また、主任等以下の若手事務職員については、ジョブローテーションに基づき、人材の育成と適性の把握が図られるよう配慮する。</p> <p>6 その他</p> <p>公的年金の報酬比例部分の支給開始年齢の引上げ（平成25年度以後60歳から65歳へと段階的に引上げ）に伴う雇用と年金の接続については、再任用制度の適切な運用により対応するよう配慮する。</p>	<p>(2) 管理職の在職期間については、学校経営の安定化の視点に配慮する。</p> <p>5 組織能力及び個々の職員のモチベーションの向上に向けた人事配置</p> <p>(1) 所属長のヒアリングにおいては、個々の教職員について、今後従事したい業務に係る希望、適性、現在の職務の遂行状況及び健康状態、<u>持病</u>、家庭事情等についてもできるだけきめ細かく聴き取ることとし、人事配置に当たっては、それらの事情を踏まえ、個々の教職員のモチベーションの向上に努めることとする。</p> <p>(2) 各所属の職員構成については、年齢、経験年数等の適切なバランスに配慮する。</p> <p>また、全県的視野から地域ごとの職員構成についても適切なバランスに配慮することとし、特に、県北・沿岸地区やへき地等の職員体制の一層の充実に努める。</p> <p>(3) 主幹教諭、指導教諭又は指導養護教諭については、学校において多様化・複雑化する諸課題に組織的・機動的に対応し、その役割がより一層効果的に発揮されるよう、学校規模等を総合的に考慮しながら配置する。</p> <p>(4) 小中学校事務の共同実施体制の機能強化を図り、学校経営の充実に資するため、「事務長」の職の効果、課題を検証し、段階的な配置拡大を進めていくこととする。</p> <p>(5) 事務局と学校との異動、職種間及び校種間での異動を行うとともに、他の任命権者との間での人事交流を行う。また、主任等以下の若手事務職員については、ジョブローテーションに基づき、人材の育成と適性の把握が図られるよう配慮する。</p> <p>6 その他</p> <p>公的年金の報酬比例部分の支給開始年齢の引上げ（平成25年度以後60歳から65歳へと段階的に引上げ）に伴う雇用と年金の接続については、再任用制度の適切な運用により対応するよう配慮する。</p>
<p>変更理由</p>	<p>1 「学校における働き方改革」の実現に向け、管理職のリーダーシップによるマネジメント機能の強化や、「チーム学校」体制の整備の観点を明記すること。（前文関係）</p> <p>2 学校教育の課題に引き続き力を入れて取組を進めることを明記すること（2関係）</p> <p>3 管理職に関し、性別にとらわれずに登用することを明記すること。（4（1）関係）</p> <p>4 所要の文言整理をすること。（前文、1、2、5(1)、(4)関係）</p>

議案第 13 号

文化財の指定に関し議決を求めることについて

次のとおり文化財の指定をすることについて、議決を求める。

岩手県指定有形文化財の指定

指定番号	名 称	員 数	所 有 者
有第 261 号	木造不動明王立像	1 軀	一関市千厩町千厩字宮敷 89 番地 宗教法人大光寺
有第 262 号	木造阿弥陀如来立像	1 軀	一関市藤沢町保呂羽字宇和田 18 番地 宗教法人時宗長徳寺

平成 29 年 10 月 24 日提出

岩手県教育委員会教育長 高 橋 嘉 行

理由

岩手県指定有形文化財の指定をしようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

諮 問 物 件 調 書

種 別	有形文化財（彫刻）
名 称 ・ 員 数	もくぞうふどうみょうおうりゅうぞう 木造不動明王立像 1 軀
所有者（保持者・団体） の住所・氏名（名称）	一関市千厩町千厩字宮敷 89 番地 宗教法人大光寺
文化財の所在場所	同上
指 定 理 由	<p>当該物件は、大光寺境内薬師堂の須弥壇右方に安置されている。</p> <p>頭体幹部は堅木 2 材による前後矧ぎでヒノキ材かヒバ材と考えられる。その形状は 1 面 2 目 2 臂の不動明王像で、像高 156.4 センチメートル、頭部は正面を向き、両足を揃え右肩と腰を僅かに右斜め前方に捻る。両眼とも見開き、眉根を寄せて瞋目する。閉口して下唇を噛み、右下牙を上出、左上牙を下出する。右腕は肘を屈して腹前で三鈷剣を執り、左腕は垂下し縋索を握る。</p> <p>腰高かつ細身の体軀、面相部の大づかみな肉付け、忿怒をことさらに表出しない表情は、平安時代末期（12 世紀）の作風を示す。頭体幹部が 1 材の前後割矧ぎではなく規格材 2 材からなる製作技法も、当地では当代から出現するものであり、作風と矛盾せず、制作時期の推定を担保する。このことから、本像は制作が平安時代に遡る作例として、当代の岩手県域の歴史文化を示す貴重な存在と評価される。</p> <p>本像は、本像の伝来地と至近の平泉で進められていた先進的な技法を採用しつつ、仏像に対する旧来の認識に基づいた造像といえ、新旧の文化の接触と融合、新来文化の波及のあり方など、当代の岩手県域の多様な文化状況を示す貴重な存在である。</p> <p>また、岩手県内に所在する平安時代の不動明王像は、本像を含め 3 例のみが知られる現状にあって、本像は木造立像としては唯一の存在であり、他 2 例（いずれも岩手県指定）とともに、岩手県域における不動明王信仰の初期段階の様相を窺い知る上でも、貴重な存在と評価される。</p> <p>さらに、本像と制作年代を同じくする毛越寺の銅造不動明王立像と両眼を開眼するなどの共通点もあり、共通する図像を想定することが考えられ、奥州藤原氏の関与が想定される</p> <p>このように、本像は、技法、作風及び図像などに新旧の要素が混在し、図像等に奥州藤原氏の影響も窺わせるなど、岩手県域の歴史文化の転換期となった平安時代末期における当地の新様と旧様との混在のあり方、新様の受容のあり方などについて、典型となる存在としても評価される。</p>

【岩手県文化財指定基準】

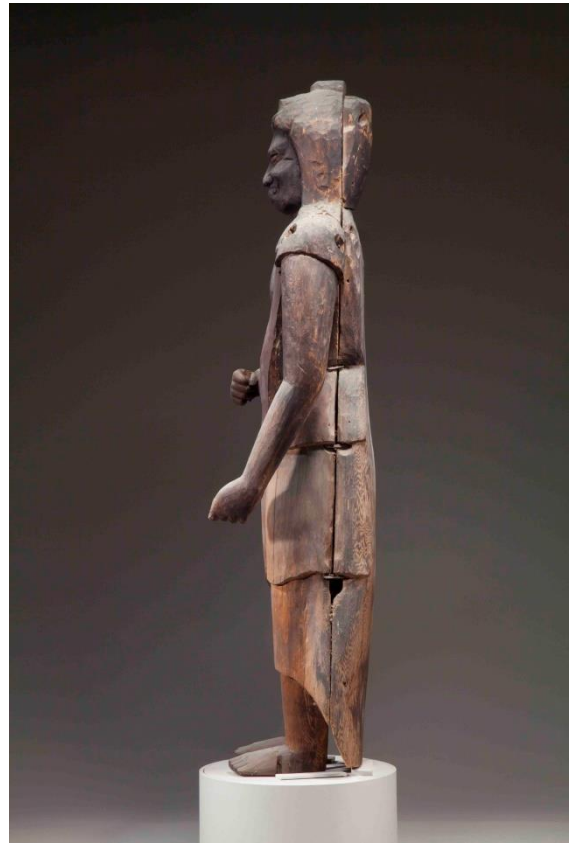
第1 有形文化財指定基準

絵画、彫刻、工芸品の部

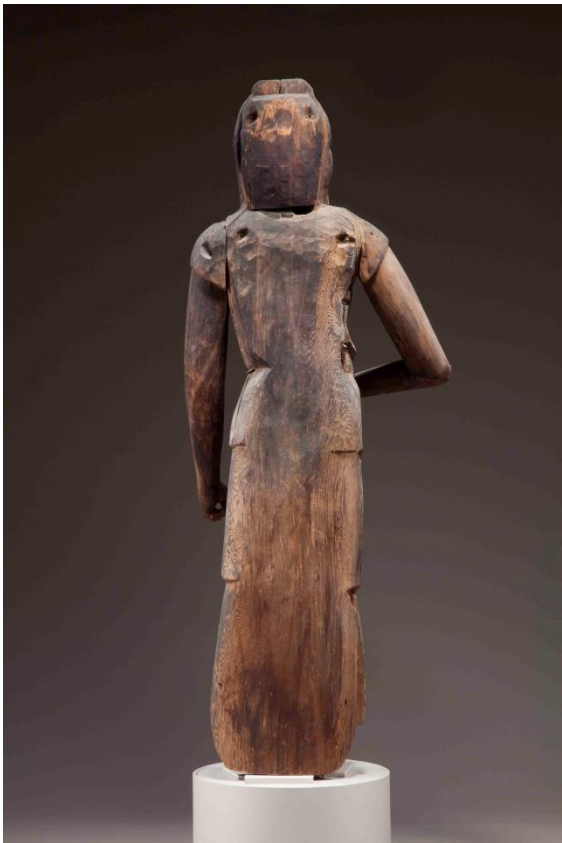
- 1 各時代の遺品のうち、製作優秀で県の文化史上貴重なもの。
- 2 県の絵画史上、彫刻史上又は工芸史上特に意義のある資料となるもの。



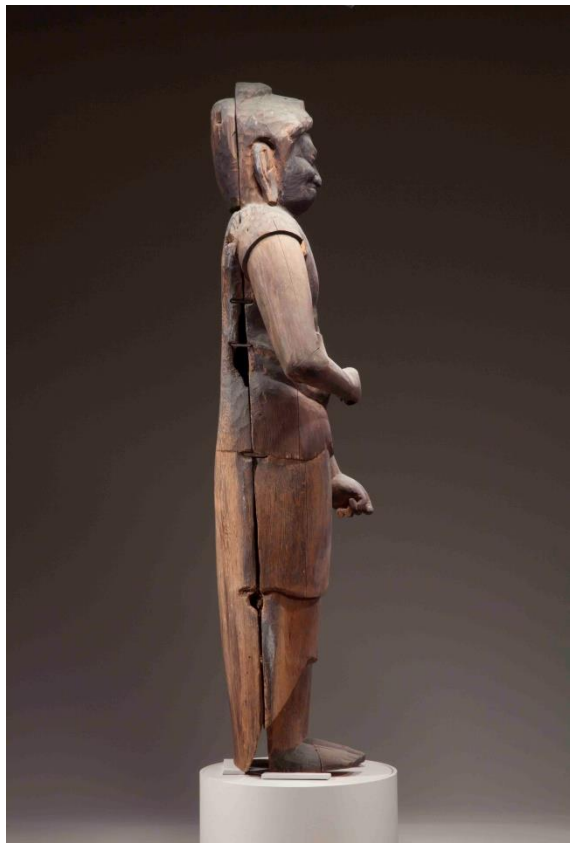
「全身正面」



「全身左側面」



「全身背面」



「全身右側面」



「部分左前斜側面」



「部分右前斜側面」



「現状」

以上、東北歴史博物館提供

諮 問 物 件 調 書

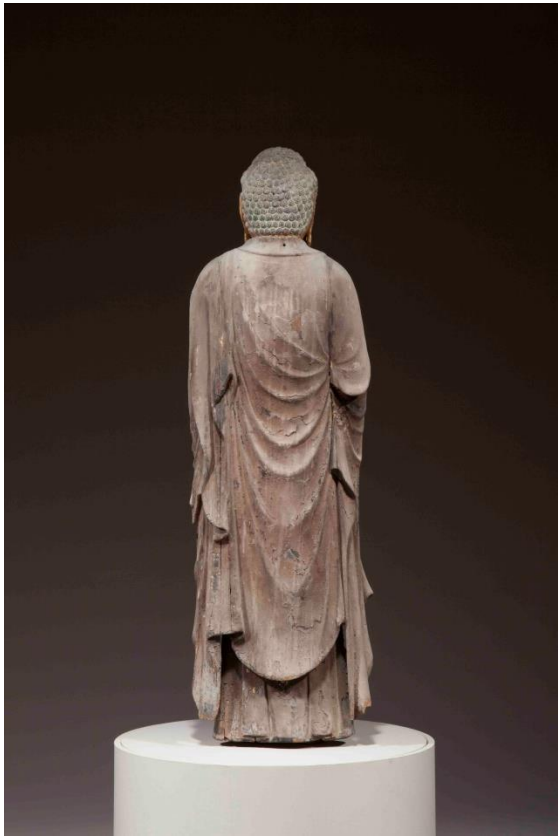
種 別	有形文化財（彫刻）
名 称 ・ 員 数	もくぞうあみだによらいりゅうぞう 木造阿弥陀如来立像 1 軀
所有者（保持者・団体） の住所・氏名（名称）	一関市藤沢町保呂羽字宇和田 18 番地 宗教法人時宗長徳寺
文化財の所在場所	同上
指 定 理 由	<p>当該物件は、長徳寺本尊像であり、同寺本堂須弥壇中央に安置されている。その形状は、挙身光を負い蓮華座上に立ち、像高は 84.4 センチメートル、髮際高で 78.1 センチメートルを計る、来迎印の阿弥陀如来立像である。割矧ぎ造りで玉眼。漆箔で一部彩色仕上げであり、材質はヒノキ材またはヒバ材と考えられる。概ね直立の姿勢で、わずかに頭部を前方に出して背を丸め、左足を斜め前方に踏み出し、腰を右斜め前方に捻る。右腕は肘を屈して掌を正面に立て、第 1 指と第 2 指を捻る。左腕は垂下して掌を正面に向け、第 1 指と第 2 指を捻る。螺髪は旋毛形（左旋）で、髮際で 20 粒を数え、髮際の螺髪が僅かに下を向く。髮際線は正面が直線上で、左右ともこめかみ付近でカーブを描き、もみあげに向かって斜めに流れる。目は細くあらわされ、上眼瞼を直線状とする。</p> <p>本像は、その着衣形式や頭部の造形、表情などの特徴において、安阿弥（快慶）様と運慶様の両様の特徴を兼ね備えたものといえ、鎌倉時代における多様な作風及び技法展開を示すとともに、構造から当代の仏像に関する認識を窺い知る貴重な存在と評価される。</p> <p>鎌倉時代以降に信仰が隆盛を極め、慶派などによって近畿地方や関東地方を中心に、優品も数多く制作された阿弥陀如来立像のうち、正統的な作風を受け継ぐ、岩手県域を代表する作例と評価される。また、既に指定されている岩手県内所在の同種の諸作例と比較して個性の発露が少ないことから、美術史において鎌倉時代の仏像の典型として、さらに、岩手県内に所在するいわゆる「鎌倉新仏教」ゆかりの木彫像の古例として、文化史において、いずれも高く評価できる。</p> <p>【岩手県文化財指定基準】</p> <p>第 1 有形文化財指定基準 絵画、彫刻、工芸品の部</p> <p>1 各時代の遺品のうち、製作優秀で県の文化史上貴重なもの。 2 県の絵画史上、彫刻史上又は工芸史上特に意義のある資料となるもの。</p>



「全身正面」



「全身左側面」



「全身背面」



「全身右側面」



「部分左前斜側面」



「部分右前斜側面」



「現状」

以上、東北歴史博物館提供

議案第 14 号

教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて
次のとおり教育表彰の受賞者を決定することについて、議決を求める。

事績顕著者

1 学校教育分野

【学校教育（4団体）】

(1) 葛巻町立小屋瀬中学校

多年にわたり希少な動植物の調査を行うとともに行政及び葛巻高等学校と連携して自然保護活動に取り組むなど、教育の振興に優れた成果を挙げた。

(2) 岩手県立種市高等学校

潜水と土木の基礎的知識と技術を学ぶことのできる全国唯一の高校として、多年にわたり多くの潜水土を育成し、海洋土木事業に貢献した。

(3) 岩手県立盛岡第三高等学校（文芸部）

多年にわたり文芸作品の創作や各種コンクールへの出品を通じて生徒の表現力を育み文芸創作活動の向上を図るなど、教育の振興に優れた成果を挙げた。

(4) 岩手県立盛岡第四高等学校（文芸部）

多年にわたり文芸作品の創作や各種コンクールへの出品を通じて生徒の表現力を育み文芸創作活動の向上を図るなど、教育の振興に優れた成果を挙げた。

【学校保健（学校医4名、学校歯科医8名、学校薬剤師7名の計19名）】

(学校医)

(1) ふたい かずしげ
二井 一成（盛岡市）

(2) しょうずしま すみこ
小豆嶋 純子（盛岡市）

(3) かなざわ しげとし
金澤 重俊（北上市）

(4) しばの よしひろ
柴野 良博（岩泉町）

多年にわたり学校医として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

(学校歯科医)

(5) みやた さきょう
宮田 左京（岩手町）

- (6) かまだ ひでし
鎌田 英史 (花巻市)
- (7) ふくだ こういち
福田 興一 (北上市)
- (8) おいかわ かつら
及川 桂 (奥州市)
- (9) くまがい ひでと
熊谷 英人 (大船渡市)
- (10) はやし あきら
林 朗 (宮古市)
- (11) あおき はじめ
青木 一 (洋野町)
- (12) あおき みかこ
青木 美佳子 (洋野町)

多年にわたり学校歯科医として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

(学校薬剤師)

- (13) よつくら ゆうじ
四倉 雄二 (盛岡市)
- (14) さとう しょうさく
佐藤 昌作 (盛岡市)
- (15) やまぐち みちよ
山口 美千代 (岩泉町)
- (16) くじ みどり
久慈 みどり (久慈市)
- (17) いくた ひろこ
生田 弘子 (二戸市)
- (18) かわむら ひさよ
川村 久代 (二戸市)
- (19) はたさわ のりゆき
畠澤 徳行 (軽米町)

多年にわたり学校薬剤師として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

【部活動等の指導者 (3名)】

- (1) おの こういち
小野 幸一 (不来方高等学校・カヌー部)

(2) ^{さるだて}猿舘 ^{みつぎ}貢 (紫波総合高等学校・自転車競技部)

(3) ^{たかはし}高橋 ^{たつひさ}樹久 (北上翔南高等学校・鬼剣舞部)

多年にわたり部活動の指導者として生徒の育成指導に尽力し、顕著な成果を挙げた。

2 社会教育分野

【社会教育活動の指導者（1名）】

(1) ^{おいかわ}及川 ^{きみこ}公子 (奥州市)

多年にわたり本県における女性団体の指導者としてその活動を牽引するなど、社会教育の振興に多大の貢献をした。

【PTA団体（5団体）】

(1) 花巻幼稚園つくしの会

家庭の教育力向上に取り組むとともに岩手県国公立幼稚園PTA連絡協議会の事務局として40周年記念式典を成功に導くなど、幼児教育の発展に多大の貢献をした。

(2) 盛岡市立城南小学校PTA

地域全体で児童の健全育成や教育環境の整備に取り組むとともにPTA活動の充実に向けた組織体制づくりに尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

(3) 北上市立照岡小学校PTA

美化活動や読書活動に積極的に取り組むとともに被災地支援に尽力するなど、教育の振興に多大の貢献をした。

(4) 岩手県立平舘高等学校PTA

生徒の支援活動に積極的に取り組むとともに、健全育成に尽力するなど、教育の振興に多大の貢献をした。

(5) 岩手県立西和賀高等学校PTA

美化活動や学校行事運営への協力体制が構築されており、また、生徒の健全育成に尽力するなど、教育の振興に多大の貢献をした。

3 教育行政分野（11名）

(1) ^{むらい}村井 ^{さぶろう}三郎 (盛岡市)

(2) ^{いとう}伊藤 ^{まさゆき}政行 (八幡平市)

- (3) よしかわ けんじ 吉川 健次 (雫石町)
- (4) うえだ たけお 上田 武夫 (雫石町)
- (5) まつかわ くみ 松川 久美 (紫波町)
- (6) おのでら ますみ 小野寺 眞澄 (一関市)
- (7) さくま むつこ 佐熊 睦子 (平泉町)
- (8) こんの ようじ 今野 洋二 (大船渡市)
- (9) むぎさわ まさたけ 麥澤 正剛 (洋野町)
- (10) おかもと としゆき 岡本 敏幸 (洋野町)
- (11) せきむかい れいこ 関 向 玲子 (軽米町)

多年にわたり教育行政の推進に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

平成 29 年 10 月 24 日提出

岩手県教育委員会教育長 高 橋 嘉 行

理由

教育表彰として二井 一成ほか 33 個人及び葛巻町立小屋瀬中学校ほか 8 団体を表彰しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

議案第 14 号 教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて

事績顕著者の主な功績内容は、以下のとおり

1 学校教育分野

(1) 学校教育

候補団体名	功績の内容
葛巻町立 小屋瀬中学校	<p>【活動歴】約 15 年 【受賞歴】H29 野生生物保護功労者表彰 文部科学大臣賞 他</p> <p>多年にわたりモリアオガエルやサクラソウ等の希少な動植物の調査を行うとともに行政及び葛巻高等学校と連携して自然保護活動に取り組むなど、教育の振興に優れた成果を挙げた。</p> <p>これらの活動が評価され、平成 29 年度野生生物保護功労者表彰 文部科学大臣賞を受賞した。</p>
岩手県立 種市高等学校	<p>【活動歴】約 65 年 【受賞歴】H29 海洋立国推進功労者表彰 内閣総理大臣表彰</p> <p>潜水と土木の基礎的知識と技術を学ぶことのできる全国唯一の高校として、我が国の高卒採用者の潜水土のうち 3 分の 1 を輩出するなど多くの潜水土を育成し、海洋土木事業に貢献した。</p> <p>これらのことが評価され、第 10 回海洋立国推進功労者表彰 内閣総理大臣表彰を受賞した。</p>
岩手県立 盛岡第三高等学校 (文芸部)	<p>【活動歴】約 53 年 【受賞歴】H28 全国高校文芸コンクール(小説誌部門) 最優秀賞 他</p> <p>多年にわたり文芸作品の創作や各種コンクールへの出品を通じて生徒の表現力を育み文芸創作活動の向上を図るなど、教育の振興に優れた成果を挙げた。</p> <p>全国高等学校文芸コンクールでは平成 25 年度から 4 年連続で最優秀賞を受賞し、うち、平成 26 年度からは文部科学大臣賞も併せて受賞した。</p>
岩手県立 盛岡第四高等学校 (文芸部)	<p>【活動歴】約 54 年 【受賞歴】H28 全国高校文芸コンクール(文芸部誌部門) 最優秀賞 他</p> <p>多年にわたり文芸作品の創作や各種コンクールへの出品を通じて生徒の表現力を育み文芸創作活動の向上を図るなど、教育の振興に優れた成果を挙げた。</p> <p>平成元年に全国高等学校文芸コンクール文芸部誌部門において最優秀賞となる文部科学大臣賞を受賞して以来、12 度にわたり最優秀賞文部科学大臣賞を受賞した。</p>

(2) 学校保健

推薦：19 名

(学校医 4 名、学校歯科医 8 名、学校薬剤師 7 名)

(3) 部活動等の指導者

候補者名	所属	功績の内容
小野 幸一 (42) (カヌー部)	不来方高等学校	【活動歴】12年 【受賞歴】H27・28 教育長表彰 多年にわたりカヌー部の指導者として生徒の育成指導に尽力し、顕著な成果を挙げた。
猿舘 貢 (54) (自転車競技部)	紫波総合高等学校	【活動歴】15年 【受賞歴】S58 教育表彰(競技者)、H24 教育長表彰 多年にわたり自転車競技部の指導者として生徒の育成指導に尽力し、顕著な成果を挙げた。
高橋 樹久 (61) (鬼剣舞部)	北上翔南高等学校	【活動歴】18年 【受賞歴】H24 教育長表彰 多年にわたり鬼剣舞部の指導者として生徒の育成指導に尽力し、顕著な成果を挙げた。

2 社会教育分野

(1) 社会教育活動の指導者

候補者名	功績の内容
及川 公子 (72) (奥州市地域婦人団体 協議会会長)	【役職歴】16年 【受賞歴】なし 多年にわたり本県における女性団体の指導者としてその活動を牽引するなど、社会教育の振興に多大の貢献をした。

(2) P T A 団体

候補団体名	功績の内容
花巻幼稚園つくしの会	【活動歴】69年 【受賞歴】H15 教育表彰、H16 文部科学大臣表彰 研修や広報の充実を図り家庭の教育力向上に取り組むとともに平成 27・28 年度には岩手県国公立幼稚園等 P T A 連絡協議会の事務局を担当し、設立 40 周年記念式典の開催及び記念誌の発行に尽力した。
盛岡市立 城南小学校 P T A	【活動歴】69年 【受賞歴】なし P T A を中心として地域全体で児童の健全育成や教育環境の整備に取り組むとともにサークル団体の設立等、P T A 活動の充実に向け組織体制づくりに尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。
北上市立 照岡小学校 P T A	【活動歴】62年 【受賞歴】H28 北上和賀地区 P T A 団体表彰 清掃美化活動や読書活動に積極的に取り組むとともに資源回収の益金の一部を被災地に支援するなど、教育の振興に多大の貢献をした。
岩手県立 平舘高等学校 P T A	【活動歴】68年 【受賞歴】H28 全国高等学校 P T A 連合会会長表彰(団体) 学校行事後にひつつみを提供するなど生徒の支援活動に積極的に取り組むとともに生徒の健全育成のため「親のあり方十か条」の普及に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

候補団体名	功績の内容
岩手県立 西和賀高等学校PTA	【活動歴】46年 【受賞歴】H28 全国高等学校PTA 連合会会長表彰（団体） 美化活動や文化祭の食堂運営など学校行事運営への協力体制が構築されており、また、生徒の健全育成に尽力するなど、教育の振興に多大の貢献をした。

3 教育行政分野

候補者名	役職	功績の内容
村井 三郎 (54)	前 岩手県教育委員会委員	多年にわたり教育行政の推進に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。
伊藤 政行 (67)	八幡平市教育委員会委員長	
吉川 健次 (71)	雫石町教育委員会教育長	
上田 武夫 (71)	雫石町教育委員会委員	
松川 久美 (60)	紫波町教育委員会委員	
小野寺 眞澄 (65)	一関市教育委員会委員	
佐熊 睦子 (75)	前 平泉町教育委員会委員長	
今野 洋二 (66)	前 大船渡市教育委員会教育長	
麥澤 正剛 (66)	前 洋野町教育委員会教育長	
岡本 敏幸 (67)	洋野町教育委員会委員	
関向 玲子 (71)	軽米町教育委員会委員	